

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 外国語

番号	発行者略称	教科書番号
観点	東書	<NEW HORIZON Elementary English Course> 509・510、609
取扱内容 〔各学年の目標・内容等〕 学習指導要領の総則及び各教科	<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 好きな教科や食事の注文など、身近で簡単な事柄について、基本的な表現等を聞いて、理解した内容とイラスト等を結び付ける活動。</p> <p>第6学年～ 自己紹介や中学校でしたいことなど、身近で簡単な事柄について、短い会話等をイラストなどを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動。</p> <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 文字の名前から音を読むことを通して、活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動。</p> <p>第6学年～ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた小学校の思い出を伝えるメモなどを読んで、その意味を捉える活動。</p> <p>○ 「話すこと [やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 誕生日にほしいものや身近な人について互いに紹介するなど、自分の考えや気持ちを伝え合う活動。</p> <p>第6学年～ 行きたい国に係り、訪れたい観光地をたずねたり、そこでできることに答えたりするなど、短い会話をする活動。</p> <p>○ 「話すこと [発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 自分のことや自分の暮らす地域のよさに関することなど、身近で簡単な事柄を話す活動。</p> <p>第6学年～ 簡単な語句や基本的な表現を用いて最近の出来事や世界とのつながりについて自分の考えや気持ちを話す活動。</p> <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ おすすめランチセットなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動。</p> <p>第6学年～ 将来したいことなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、おすすめの施設をたずねることや、自分が作ったオリジナルタウンを使って好きな施設を紹介することなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動。</p> <p>第6学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、飼育員さんが作ったポスターを読むことや、生き物のために身近でできることを発表することなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動。</p>	

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・全ユニットは同じ流れに排列されている。 「Starting Out」初めに、談像や音声などを通じて、単元の学習内容に慣れる。 「Your Turn」友達と会話をしたりして、学習内容の定着を図る。 「Enjoy Communication」英語を使う実際の場面を想像して、会話や発表をする。 「Over the Horizon」海外の映像などから、言葉の背景にある文化を知る。 「Check Your Steps」できるようになったことをふり返って発表する。 第5学年～最初自分のことを考えて、その掴みやすいところからだんだん広がってくる。学期ごとに分かれており、第一学期は自分自身のこと、第二学期は身の回りのこと、そして第三学期は日本全体に広がる。 第6学年～最初から日本だけでなく、世界の様々な国との繋がりを探して、理解する。環境問題についても考え、自分のできることを英語で説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の分量については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> 第5学年～総ページ数は96ページ。巻末にローマ字カード、絵カード、コミュニケーションカードが用意されている。(A4判) 第6学年～総ページ数は96ページ。巻末に絵カード、コミュニケーションカードが用意されている。(A4判)
<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育への配慮……特別支援教育の専門家の助言の下、文字認識のつまずきポイントに留意して、全ての児童にとって「分かりやすい(＝読みやすく、書きやすい)」新ユニバーサルデザインを採用している。従来のものとの違いは、bとd、pとq等の丸い部分は正円にはせず、あえて不均等にして、読むときの視覚的な混乱を回避する等、大変よくできた配慮となっている。 ・単元のテーマに沿った明確な目標のもと、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどの活動を紙面上の定位置に配置することで、学習の流れを分かりやすく示してある。 ○ 主体的に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書に掲載された二次元コードを通じて閲覧できる5・6年生合わせて650以上のQRコンテンツが、児童の習熟度や興味・関心に応じた個別最適な英語の学びをサポートしている。家庭学習にも対応しており、学び直しにも役立つ。 ・調べた単語を4線の上に書くなどして、「自分だけの絵辞書」にすることができる。紙面の二次元コードからアクセスするDigital Dictionaryでは、紙面の単語すべての音声を聞くことができるだけでなく、紙面にない単語も調べることができ、児童の自ら学ぶ力を育むことに適している。 ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・柔軟なカリキュラム作成：紙面は1ページ45分が目安だが、脚注に配置した活動は短時間の帯学習にも活用できる。単元終盤のOver the Horizonは各学級の実態に応じて扱い方を工夫できるので、柔軟なカリキュラム作成が可能である。 ・現在、中学校で使われているNew Horizonと同じシリーズであり、小学校6年生から中学校1年生の進学時、使い慣れている教科書なので戸惑いが少ない。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2年間使用するPicture Dictionary(教科書番号510)が付いていて、GIGAスクールを考えているいろいろなパソコンで触れる情報や活動が盛り込まれている。 ○ 各国の文化を豊富に紹介：世界各国の文化を取り上げ、母国を中心とした世界の文化をALTが紹介しやすい。 ・さまざまな国や人種を取り上げ、多様性に配慮している。専門家の指導のもと、登場人物の性別や服装、身体的な特徴などにも偏りがないよう注意を払っている。

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 外国語

番号	発行者略称	教科書番号
観点	開隆堂	<Junior Sunshine> 511、512、611、612
取扱内容 各学年の目標・内容等	<ul style="list-style-type: none">○ 「聞くこと」については、ゆっくりはっきりと話されれば、基本的な表現や具体的な情報を聞き取ったり、短い話の概要を捉えたりするよう、次のような学習活動を取り上げている。 第5学年～誕生日、教科・趣味等の身近なものや、慣れ親しんだ施設や建物の単語、食べ物の単語を聞き、イラストと結びつける活動。 第6学年～身近な食べ物や行事に触れたり、時刻や動作の表現方法を聞き、イラストや写真から物事を汲み取る活動。○ 「読むこと」については、活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音できるような学習活動や、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるよう、次のような学習活動を取り上げている。 第5学年～Let's Listen and Readでは、音声を聞きながら文を指で追うことで、聴く力と読む力を同時に養う活動。 第6学年～「夏休みの思い出」や「小学校生活いちばんの思い出」を音声で聞き、文を指で追って読むことで、身近な出来事の意味を理解する活動。○ 「話すこと[やりとり]」については、基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりするよう学習活動や、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるよう学習、質問したり質問に答えたりして伝え合うよう、次のような学習活動を取り上げている。 第5学年～出会って自己紹介をし合い、お互いの好きな教科や趣味、好きな食べ物等を伝え合うという身近な題材から、英語でコミュニケーションを図る活動。 第6学年～第5学年で培った自己紹介をより発展させ、内容豊かに表現をし合う活動。○ 「話すこと[発表]」については、日常生活に関する身近で簡単な事柄や自分のことや、自分の考え、気持などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるよう、次のような学習活動を取り上げている。 第5学年～「町のすてきなところ」や「クラスみんなのヒーロー図かん」をテーマにした発表では、町や友人の魅力を相手に伝える活動。 第6学年～「夏休みの思い出」や「小学校生活いちばんの思い出」という身近なテーマにおいて自分の想いを話す活動。○ 「書くこと」については、大文字、小文字を活字体で書く学習活動や、語順を意識しながら簡単な語句や基本的な表現を書き写したり、自分のことや身近で簡単な事柄について簡単な語句や基本的な表現を用いて書いたりすることができるよう、次のような学習活動を取り上げている。 第5学年～Letter Boxはクイズ形式で楽しくアルファベットに触れることができ、Let's Checkではこれまでの学習の振り返り・アルファベットの書き方が確認できる活動。 第6学年～日課を伝える表現を学び、例文を元に「何をいつどのくらい行っているか」を書く活動。○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～慣れ親しんだ施設や建物の単語を地図記号の学習とも連動させ、興味を持って題材を楽しく理解する活動。お互いの好きな教科や趣味、好きな食べ物等を伝え合うという身近な題材から英語でコミュニケーションを図ることの楽しさを見出し、自らの発信力を高める活動。 第6学年～身近な食べ物や行事に触れながら、日本と世界各国の文化の違いにも自然と目を向けられる活動。Story Timeでは、世界各国の紹介を通してSDGsの取り組みや課題も同時に確認できる活動。世界のこと、日本のこと、学校のこと、自分のことを伝えたりたずね合ったりすることでこれまでの学習を振り返り、尚且つこれからの学習の楽しさに繋がる活動。	

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・各単元の学習の流れが明確化され、尚且つGOALが見える化されることで、見直しをもって学習に取り組むことができる。また、すべての単元を8時間配当とすることで、学習内容の現在地が確認しやすくなっている。 ・第5、6学年の2年間を通して同じキャラクターを登場させることで、コミュニケーションがより身近に感じられる工夫がされている。 ・日常の出来事や共感できる内容で、学習したことを実生活・実社会に生かすことができる。 ・グローバル化を踏まえ、世界各国の文化・生活に触れながら、SDGsなどの今日的な課題や他教科との関連にも配慮し、読む力が養われる。 ・伝え合うことで、お互いの共通点や相違点を見つけ、コミュニケーション力が培われていく。 ・Around the World及びOur Worldにおいて、世界の伝統や文化、生活習慣などを紹介し、多様な価値観に触れ、他者や他国を尊重し、国際社会の平和と発展に目を向けられる。 第5学年～Lesson6においては「身近な人のためにランチメニューを考え、ていねいな言い方で注文することができる」をGOALに設定し、料理という身近なものの言い方に慣れることから始め、注文の仕方を学び、値段や料理の味について伝え合うことで系統的・発展的に学習できるような工夫。 第6学年～Lesson2においては「日本の名産や名所、名物などについてしょうかいすることができる」をGOALに設定し、日本の名産や名所、名物の言い方を学び、改めて日本の文化等について理解を深め、伝えあい、ポスターを作る活動を通して日本のよいところを紹介することで系統的・発展的に学習できるような工夫。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の分量については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> 第5学年～総ページ数は128ページ。巻末に「アルファベット練習帳」、「5年で学習した表現のまとめ」、「アルファベット表」、「ローマ字表」、「日本地図」、「レッスンの振り返り表」、「英語すごろく」、「アルファベットカード」が用意されている。また、335語の語彙が掲載されている 第6学年～総ページ数は128ページ。巻末に「アルファベット練習帳」、「リスニング・リーディング練習帳」、「6年で学習した表現のまとめ」、「アルファベット表」、「ローマ字表」、「世界地図」、「レッスンの振り返り表」、「英語すごろく」、「アルファベットカード」が用意されている。また、422語の語彙が掲載されている。
<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 聞きたくなる・話したくなる題材や設定が、実際に英語を使って考えや気持ちを伝え合う言語活動を充実させていて、楽しみながらコミュニケーションを積み重ねていけるように、他教科等や日常生活との関連を重視し、多様化する生活スタイルや人権などにも配慮しているなど、学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 巻末にあるCAN-DOチェックで自己評価を行い自身の成長や課題を確かめられる、活動内容がアイコン化され把握しやすいなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 書体は形を捉えやすくなぞり書きや手本に適した視認性の高い独自のフォントが用いられていたり、二次元コードを掲載し音声やクイズを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。また、別冊の絵辞典Word Bookでは小学校や中学校でよく使われる語にはわかりやすい記号(★)がついており、他社には見られない工夫がされている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文字学習に苦手意識を持たせない工夫として、文字を大きく配置し、ゆとりある紙面とすることでA4版となっている ○ 使いやすさと重量に配慮し、軽さを追求した耐久性のある用紙で、鉛筆で書きやすく消しやすい、児童の手にもめくりやすい造本上の工夫がされている。 ○ 教員の「働き方改革」にも配慮し、文字に関する学習や書く活動を紙面上で行えるようにすることで、教科書を児童一人ひとりの学習状況や成長を見取るポートフォリオとして活用できる。 ○ 「学びを楽しくすること」「自分も他者も大切にすることを育てること」「伝え合う喜びを味わえるようにすること」を3つの柱に、英語によるコミュニケーションで考えや気持ちを伝え、自分の未来につながる鍵を英語学習から得てもらいたいという想いで作られている。 ○ 学習者用デジタル教科書では、本文の読み上げや紙面の拡大表示などの機能を有している。

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 外国語

番号	発行者略称	教科書番号
観点	三省堂	<CROWN Jr.> 513・514、613
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教、各学年の目標、内容等	<ul style="list-style-type: none">○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～誕生日や行きたい国など、身近で簡単な事柄について、基本的な表現等を聞いて、理解した内容とイラスト等を結び付ける活動。 第6学年～好きなスポーツや職業など、身近で簡単な事柄について、短い会話等をイラストなどを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動。○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～文字と音のつながりを学ぶことを通して、活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動。 第6学年～音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた6年生の思い出などを読んで、その意味を捉える活動。○ 「話すこと [やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～好きな教科や地域の魅力について互いに紹介するなど、自分の考えや気持ちを伝え合う活動。 第6学年～夏休みに係り、行った場所をたずねたり、楽しんだことに答えたりするなど、短い会話をする活動。○ 「話すこと [発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～得意なことや自分たちの地域に関することなど、身近で簡単な事柄を話す活動。 第6学年～簡単な語句や基本的な表現を用いて修学旅行や校外学習の思い出や将来つきたい職業について、自分の考えや気持ちを話す活動。○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ふだん日曜日にするなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動。 第6学年～希望の職業についたらしたいことなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動。○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～単元を見通した学習課題を設定し、行きたい国をたずねることや、パノラマを見ながら、行きたい場所とそこでしたいことを伝え合うことなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動。 第6学年～単元を見通した学習課題を設定し、中学校で力を入れたい教科や入りたい部活動について聞くことや、どんな中学校生活を送りたいか伝え合うことなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動。	

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・学びに向かう力・言葉を使う力・考える力・他者と関わろうとする心を具現化するために、HOP/STEP/JUMPで1ユニット、各学年に3ユニット、合計6ユニット構成になっている。 ・【HOP】診断的な活動を通して、今の自分にできること・できないことを確かめ、JUMPで自分がどんなことが言いたいかという見通しを立てて、STEPでどんな表現を習得したいかを確認するという工夫が見られる。 ・【STEP】それぞれのLESSONはパノラマと技能統合型活動を含む、全10ページで構成されている。また、場面を通して、表現や文構造を確認し、それらを使いながら身につけられるという工夫が見られる。 ・【JUMP】PRESENTATIONとして位置づけられ、児童が本当に言いたいことを言う活動を設定し、第3学年からの継続した表現や文構造を目的の明確な言語活動の中で、思考力を働かせながら、意思をもって選択的にその表現を使えるという工夫が見られる。 第5学年～取り扱う題材は、児童の知的欲求に合致するものを選択し、物語では児童の感性に訴え、個人の能力や創造性を伸ばし発揮するなかでそれらを将来の生活や職業に結び付けることができるような内容を扱っている。 第6学年～取り扱う題材は、個人の能力や創造し、それを伸ばし、個性を発揮する中でそれらの将来の生活や職業に結び付けることができるもの、日本伝統文化、他国の文化、平和問題、環境問題などを扱い、児童の自律的な学びを支え、学ぶ意欲の喚起につながる内容となっている。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の分量については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> 第5学年～総ページ数は112ページ。巻末にローマ字表、アルファベットカード、自己紹介カードが用意されている。（A判） 第6学年～総ページ数は112ページ。巻末にローマ字表、夏休みの思い出や将来の夢を書くカード、身の回りのものの変化を伝えるカードが用意されている。（A判） 別冊で Crown Jr. My Dictionary がある。
<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・大量のインプットから焦点化したインプットで徐々にアウトプットにつなげる。 ・学びのプロセスを「見える化」し、学びの見通し→基礎・基本を習得→活用の流れをスムーズに育成するようになっている。 ・Story Timeではユーモラスな内容で、飽きずに聞けるお話を聞いて文字に親しませている。 ・Hello, Worldでは、5年生では世界のスポーツ、日本大発見、6年生では世界のまつり、世界の小学校、世界のいろいろな仕事を取り上げている。 ○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・語彙や表現のインプットではPANORAMAという一枚見開きで、写真で楽しく学ぶことができる。 ・1文から複数文へ、そして統合的活動で運用能力を強化できるよう配慮されている。WRITE & TALK/ Speak、Listen & Writeではレッスンのまとめとして技能統合型の活動を配置し、書くことも取り入れながら「話す（発表/やりとり）」で自分のことを伝える場面を設けている。 ○ 使用上の便宜については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・5領域を示すアイコンや専用の手書き文字フォントを開発・採用し、大文字・小文字ともきれいに4線に乗るようになっている。 ・特別支援教育への配慮として、識別しにくい配色を避けて、形や記号などの補助的な手がかりを設けている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末にCAN-DOリストを配置し児童が自分の学びを主体的にチェックできるような工夫が見られる。 ○ どんな活動をするのかが一目でわかる、5領域を示すアイコンがついている。 ○ QRコード有。 ○ 2年間使用するMy Dictionary（教科書番号514）が付いている。

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 外国語

番号	発行者略称	教科書番号
観点	教出	<ONE WORLD Smiles 515、615
取扱内容 各学年の学習指導要領の目標・内容等	<ul style="list-style-type: none">○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～時間割や行きたい場所など、身近で簡単な事柄について、基本的な表現等を聞いて、理解した内容とイラスト等を結び付ける活動 第6学年～つきたい職業や中学校の行事など、身近で簡単な事柄について、短い会話等をイラストなどを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～日本語と英語の音の違いに気付かせることを通して、活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動 第6学年～音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたクラスの「思い出アルバム」などを読んで、その意味を捉える活動○ 「話すこと [やりとり]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～夢の授業や行ってみたい都道府県について互いに紹介するなど、自分の考えや気持ちを伝え合う活動 第6学年～夏休みに係り、絵日記の内容をたずねたり、伝えたい出来事に答えたりするなど、短い会話をする活動○ 「話すこと [発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～家での習慣や自分ができることに関することなど、身近で簡単な事柄を話す活動 第6学年～簡単な語句や基本的な表現を用いて夏休みにしたことや将来の夢について、自分の考えた気持ちを話す活動○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～地図記号ガイドなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動 第6学年～中学校でしたいことなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～単元を見通した学習課題を設定し、ほしいものをたずねることや、自分で作ったオリジナル・メニューを使ってレストランのロールプレイをすることなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～単元を見通した学習課題を設定し、行きたい国や地域とそこでできることをたずね合うことや、夢の世界旅行を発表することなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動	

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Lessonの冒頭に「単元の目標」を示し、「外国語を使って何ができるようになるか」を明確にし、Lesson末で単元の目標に関連したやりとりや発表をする構成にしました。学習の見通しを立て、コミュニケーションの目的を意識しつつ、Lesson内の各活動を進めていけるように工夫されている。 • Lessonは、映像を見ながら「聞くこと」を通した豊富なインプットから始め、音声のみでの「聞くこと」、歌やリズムに合わせた口慣らしを通して表現に慣れ親しむこと、学んだ表現を使った簡単な「やり取り」を経て、最後の活動で「話すこと（やり取り・発表）」（6年生は、伝えたい内容の表現例を「読むこと」から自分自身が伝えたい内容を「書くこと」が加わる）というアウトプットへと展開する構成になっている。 <p>第5学年～Lesson9において、人物紹介について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って得意なことについてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で、憧れの人について発表する活動展開へするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～Lesson4において、日本の食べ物について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って日本の文化を伝え合う活動に取り組み、終末の活動で、日本の行事や文化を紹介するポスターをかき、発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第5学年～ 総ページ数は116ページ。扱う語数は472語（3・4年生でふれてきたと想定される語を含む）。付録として、アルファベット表、ローマ字表のほか、My Word Bankが設けられている。活動用のシール、絵カード、ワークシートが収録されている。各Lessonは7時間配当を基本とし、指導時数の目安は67時間。</p> <p>第6学年～ 総ページ数は108ページ。扱う語数は196語（3・4年生でふれてきたと想定される語を含む）。付録として、アルファベット表、ローマ字表のほか、My Word Bankが設けられている。その他、絵カード、ワークシートが収録されている。各Lessonは7時間配当を基本とし、指導時数の目安は67時間。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 「Think」（全学年）では、話す内容やコミュニケーションについて気付きや思考を促すなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 学びの見通しが立てやすいロードマップ（全学年）や、各単元の「Lessonをふりかえろう」（全学年）を設けるなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントになるように配慮したり（全学年）、識別しやすい配色を用いたり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載し、動画やワークシートを活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。</p> <p>○ 人権を尊重し、あらゆる差別をなくし、ジェンダーについても理解が深められるように配慮されている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 学習者用デジタル教科書では、音声の再生や紙面の拡大表示などの機能を有している。</p>

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 外国語

番号	発行者略称	教科書番号
観点	光村	<Here We Go!> 516、616
取扱内容 〔各学年の目標・内容等 学習指導要領の総則及び各教科〕	<ul style="list-style-type: none">○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～誕生日にほしいものや憧れの人など、身近で簡単な事柄について、基本的な表現等を聞いて、理解した内容とイラスト等を結び付ける活動 第6学年～一日の生活や思い出の学校行事など、身近で簡単な事柄について、短い会話等をイラスト等を参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～大文字と小文字を見て文字の名前を読むことを通して、活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動 第6学年～音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた夢宣言などを読んで、その意味を捉える活動○ 「話すこと [やりとり]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～好きな教科とその理由やオリジナル料理について互いに紹介するなど、自分の考えや気持ちを伝え合う活動 第6学年～行きたい国に係り、その理由をたずねたり、その国の魅力を答えたりするなど、短い会話をする活動○ 「話すこと [発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～友だちができることや自分の憧れの人に関することなど、身近で簡単な事柄を話す活動 第6学年～簡単な語句や基本的な表現を用いて自己紹介や動物が食べるものについて、自分の考えた気持ちを話す活動○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～町の魅力を伝えるパンフレットなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動 第6学年～自分の夢宣言など、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～単元を見通した学習課題を設定し、お気に入りの場所をたずねることや、自分が作ったパンフレットを使って町の魅力を伝えることなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～単元を見通した学習課題を設定し、夏休みにしたことをたずねることや、自分が書いた絵日記を使って夏休みの思い出を発表することなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動	

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年を大きく3つのまとまりに分け、全体を8つのUnitで構成している。まとまりごとの教材数は、発達段階や学習の持続性を考慮し、バランスよく配列されている。 ・各Unitでは、5領域の中で特に重点的に学習する領域を設定し、目次やHop!の目標欄では、重点的に扱う領域のアイコンが示されている。 <p>第5学年～Unit6において、店や施設について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って道案内についてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で、理想の町について発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～Unit2において、日本の行事について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って好きな季節と行事を伝え合う活動に取り組み、終末の活動で、日本の行事やその時にできることを発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第5学年～総ページ数は114ページ。付録として、アルファベット表を含む取り外し可能なPicture Dictionaryが設けられている。その他に、ローマ字表、All About Me（自分が表現したいことを書き溜めて一覧できるシート）が収録されている。各Lessonは7時間配当を基本とし、指導時数の目安は70時間。</p> <p>第6学年～総ページ数は114ページ。付録として、アルファベット表を含む取り外し可能なPicture Dictionaryが設けられている。その他に、ローマ字表、All About Me（自分が表現したいことを書き溜めて一覧できるシート）、中学校の英語学習に向けて見通しをもたせるページが収録されている。各Lessonは7時間配当を基本とし、指導時数の目安は70時間。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 「世界の友達」（全学年）では、各国の小学生のメッセージを視聴し多様な文化や価値観に触れるなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ Unitの話題を自分のことに引き付ける「About You」（全学年）や、巻末の「All About Me」（全学年）を設けるなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントになるように配慮したり（全学年）、識別しやすい配色を用いたり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載し、アニメーションや音声を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 学習者用デジタル教科書では、機械音声での読み上げや紙面の拡大表示などの機能を有している。</p>

令和6年度から使用する小学校用教科用図書答申書

教科名 外国語

番号	発行者略称	教科書番号
観点	啓林館	<Blue Sky elementary> 517、617
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<ul style="list-style-type: none">○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～誕生日にほしいものや行ってみたい国など、身近で簡単な事柄について、基本的な表現等を聞いて、理解した内容とイラスト等を結び付ける活動。 第6学年～好きなものや行ってみたい部活動など、身近で簡単な事柄について、短い会話等をイラストなどを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動。○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～アルファベットの名前を読むことを通して、活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動。 第6学年～音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた将来の夢を伝える吹き出しのセリフなどを読んで、その意味を捉える活動。○ 「話すこと [やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～食べたいものや自分の家までの最短ルートについて互いに紹介するなど、自分の考えや気持ちを伝え合う活動。 第6学年～自分の住む地域に係り、必要だと思うものをたずねたり、その理由を答えたりするなど、短い会話をする活動。○ 「話すこと [発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～日本の食べ物やアニメのキャラクターに関することなど、身近で簡単な、事柄を話す活動。 第6学年～簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の憧れている人や小学校の思い出について、自分の考えや気持ちを話す活動。○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～友だちができることなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動。 第6学年～印象に残ったできごとなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動。○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～単元を見通した学習課題を設定し、行ってみたい国をたずねることや、一緒に行きたい国の魅力を伝えて友だちを誘うことなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動。 第6学年～単元を見通した学習課題を設定し、中学校で行ってみたいことをたずねることや、中学校を紹介してくれた人にお礼の手紙を書くことなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動。	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第5学年～・オリジナルの教科を入れた、夢の時間割を作って発表する活動を通して、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばす態度を養うようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の名を考慮したバースデーカードを作る活動を通して、他者を敬愛する心を育むようにしている。 ・家での仕事について話す活動を通じて、協力を重んずる心を育むようにしている。 ・自分や他者のできる事、得意なことなどを理解し、自他の協力を重んずる心を育むようにしている。 ・他者のためのメニューを考える活動を通じて、他者を敬愛する心を育むようにしている。 ・困っている人を助ける場面を想定した言語活動を通して、道徳心を育むようにしている。 ・世界の国のことを知ったり、行ってみたい国の魅力を伝えたりする活動を通して、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うようにしている。 ・世界のSDGsに関する取組を紹介し、生命や自然を大切にすることを育むようにしている。 <p>第6学年～・外国人の人に日本に来てもらえるように日本の魅力を伝える活動を通じて、自国と郷土を愛する心を育むようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の住む地域にとって必要なもの考える活動を通じて、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うようにしている。 ・自分の体験を伝え合う活動を通じて、豊かな情操と道徳心を培うようにしている。 ・憧れの人の特徴や職業、偉業について考える活動を通じて、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度や、勤労を重んずる態度を養うようになっている。 ・外国の小学校の行事を知り、自分の小学校の思い出を外国の人に伝えるときの内容を考える活動を通じて、自他国の文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うようにしている。 ・将来の夢について考える活動を通じて、自主および自律の精神を養うとともに職業および生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うようにしている。 ・やってみよう部活動や中学校生活について考える活動を通じて、自主及び自律の精神を養うようにしている。 ・世界のSDGsに関する取組を紹介し、生命や自然を大切にすることを育むようにしている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第5学年～ 総ページ数は132ページ。巻末にワードリスト、Can-Do List、英語のゲーム、単語カードが用意されている。(A判)</p> <p>第6学年～ 総ページ数は132ページ。巻末にワードリスト、Can-Do List、アルファベット表、単語カードが用意されている。(A判)</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">使用上の配慮等</p>	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わかった!」「できた!」を重ねるようにしている。(知識・技能) ・「考える」を促すようにしている。(思考・判断・表現) ・「もっと学びたい」を引き出すようにしている。(主体的な学び) ・1人1台端末を有効に活用するようにしている <p>○ 個別最適な学び・特別支援・ユニバーサルデザインへの対応は次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが識字しやすいユニバーサルデザイン書体を使用している。 ・二次元コードを豊富に掲載し、いつでも個別学習ができるようにしている。 <p>○ 主体的・対話的で深い学び、協働的な学びについて次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像視聴やリスニング活動を通じて、自ら推測できる仕掛けがあり、児童どうして共有し、話し合いの中から自ら気づき、友達の発話から学びを深められるようにしている。 ・判断する年代に思考力マークをつけ、深い学びへとつないでいる。 <p>○ 中学年・中学校との連携については次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの音読みを1文字1文字丁寧に学習し、徐々に英語を読む力を養うようにしている。 ・書くときのルールを学べるようにしている。 <p>○ カリキュラムマネジメントへの対応については次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語との語順の違い、棒グラフや円グラフの読み取り、道徳心を育む物語り、世界の文化やSDGsの取組を掲載している。 ・児童の特徴を読み取ることができるよう、教科書に書き込み欄を多く設けている。 <p>○ 1人1台端末環境への対応については次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を使った繰り返し学習が有効な箇所には二次元コードを明示している。 <p>○ 家庭学習・自学自習への対応については次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭でも音声を使って学習ができるよう、紙面に適宜二次元コードを掲載している。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの人種の人々を登場させている。 ○ 自他国の文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うようにしている。 ○ 世界のSDGsに関する取組を紹介し、生命や自然を大切にすることを育むようにしている。 ○ 行間にゆとりをもたせ、文章が読みやすくなるように配慮している。 ○ アレルギー環境に配慮し、植物性インキ・再生紙を使用している。